

きよなん 議会だより



令和4年7月20日

第143号

〒299-2192
千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458
TEL0470-55-4804

発行／鋸南町議会
編集／議会広報特別委員会



**6月の佐久間ダムは
約5500本のあじさいでいっぱい!**

町ホームページにも
本誌を掲載しています
カラーでより鮮明な
画像をご覧になれます



はやわかき

令和4年6月定例会・・・2
令和4年5月臨時会・・・4
4議員が町政を問う・・・6

第4回定例会

条例関連2件

補正予算3件を可決



議員発議

6月定例会は、会期を6月7日の1日間とし、集中審議を行った。今定例会では、議会からの2議案と町側からの7議案を可決し、2件の報告を受けた。

一般質問には、大塚昇議員、青木悦子議員、笹生あすか議員、竹田和明議員の4名が質問席に立った。

◆国における2023年度教育予算
拡充に関する意見書

いじめ、不登校、少年による凶悪犯罪、経済格差から生じる教育格差、子どもの貧困等の問題へ対応し、一方で国際化、高度情報化などの社会変化に対応した学校教育の推進や教育環境整備をし、かつ教職員定数の確保を内容とするもの。

◆義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るためのもの。

いずれも、教育関係団体から提出された義務教育に関する意見書の提出要望を採択した。内閣総理大臣ほか関係3大臣あて意見書を送付。

条例



◆鋸南町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

過疎地域において、製造業、農林水産物等販売業、宿泊業など、一定の要件を満たした事業用資産の、新規取得に係る固定資産税免除を行う条例。

◆鋸南町過疎地域自立促進特別事業基金条例の廃止

補正予算

一般会計については、歳入歳出それぞれ5071万8千円が追加され、可決した。補正の内容は、新型コロナウイルスの4回目接種や住民税非課税世帯等臨時特別給付金に係る費用などで、総額を4億9293万1千円とした原案を、賛成多数で可決した。

【令和4年6月補正予算】

	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	49億4221万3千円	5071万8千円	49億9293万1千円
病院事業会計	1億177万3千円	債務負担行為の設定	1億177万3千円
水道事業会計	4億5685万3千円	4万7千円	4億5690万円



令和4年

議員発議2件

工事請負契約2件

工事請負契約

◆都市交流施設周辺整備工事

東海建設(株) 鋸南支店

6億8750万円

◆防災行政無線親卓設備更新工事

スイス通信システム(株)

1億1550万円



更新が必要な防災行政無線親卓設備

報告

◆令和3年度鋸南町一般会計予算繰越報告

◆令和3年度鋸南町水道事業会計予算繰越報告

都市交流施設周辺整備事業の工事請負契約の締結について、3名の議員から討論があった。

反対討論①

竹田 和明議員

私は反対の立場で討論を行います。先程の一般質問でも質問しましたが、都市交流施設周辺整備事業については未だ収支計画すら議会に提示されていません。つまり、工事発注についての賛否を判断する段階ではなく、判断は不可能であるので、反対いたします。

反対討論②

渡邊 信廣議員

都市交流施設周辺整備事業に関わる高速バスの乗り入れは、タイムロスはもちろん、公園の利用者や、観光客の安全確保に支障をきたすと同時に、道の駅利用者の有効活用、または費用対効果に支障が出ると思っています。

昨年12月の一般質問においても、9億円を超える大規模事業であり、案として県道に隣接した旧校門付近の未利用地を活用することが、今後のバス需要に対し、重要だと申し上げてきました。

しかし、計画の見直しはなく、安全性の確保や費用対効果、また利便性の向上に努めることが、将来を見据えた計画であり、それが町としてのランドマーク、交流拠点の充実に繋がることだと私は思っています。指定管理料もいまだに示されておりません。そういうようなことから、本工事契約については反対をします。

賛成討論①

笹生 正己議員

私は、賛成の立場から、討論します。

私はこの予算が通るとき、反対しました。しかし、賛成多数で、この予算は通りました。この工事請負契約に関しては、もう予算が通ったものであるのです、私は賛成させていただきます。



5月臨時会

5月臨時会は、5月12日、会期を1日として開催した。職員の育児休業に関する条例及び税条例並びに国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認3件、財産の取得1件（社会教育バス）、教育委員会委員1名の任命、農業委員会委員10名の任命、選挙管理委員会委員4名及び同補充員4名の選任を合わせて17議案が提出され、全議案を可決並びに同意した。

可決した人事案件は以下のとおり。（敬称略）

○ 教育委員会委員 伊藤 尚徳

任期：令和8年5月29日までの4年間

○ 農業委員会委員（10名）

田村 晋一	三瓶 正一
原田 正明	田村 修
紀野 誠	小藤田 光男
福原 康洋	川名 一人
早川 洋子	馬賀 仙夫

任期：令和7年5月13日までの3年間

○ 選挙管理委員会委員（4名）

平井 昭二	長嶋 勝
須藤 智	鈴木 匡

選挙管理委員会補充員（4名）

能城 勉	森 政幸
角田 憲司	篠原 竜二

任期：令和8年5月29日までの4年間

千葉県町村議会議長会

自治功労者表彰を受賞

5月26日、千葉市内（千葉県自治会館）において、千葉県町村議会議長会第1回定例会が開催されました。会議の席上、町議会議員を11年以上在職し、地方自治に功労があった議員に贈られる、「自治功労者表彰」の発表があり、鋸南町議会からは、小藤田一幸・渡邊信廣の2議員が受賞しました。



左から、渡邊議員・小藤田議員

この伝達式が、6月7日、第4回鋸南町議会定例会午後の会議再開前、議場において鈴木議長から受賞者へ表彰状が授与されました。



本会議での 議 決 結 果

賛成「○」 反対「×」 ※議長は採決に加わりません

番号	件名 (件名は一部省略)		平島孝一郎	笹生正己	欠員	鈴木辰也議長	小藤田一幸	渡邊信廣	笹生久男	青木悦子	大塚昇	竹田和明	早川正也	笹生あすか
----	-----------------	--	-------	------	----	--------	-------	------	------	------	-----	------	------	-------

第三回 5月臨時会

<専決処分の承認>

議案第1号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	承認	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	鋸南町税条例等の一部改正	承認	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	鋸南町国民健康保険条例の一部改正	承認	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○

<財産の取得>

議案第4号	社会教育バス	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
-------	--------	----	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---

<鋸南町教育委員会委員の任命> (敬称略)

議案第5号	教育委員の任命 (伊藤尚徳)	同意	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
-------	----------------	----	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---

<鋸南町農業委員会委員の任命> (敬称略)

議案第6号	農業委員の任命 (田村晋一)	同意	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	農業委員の任命 (三瓶正一)	同意	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	農業委員の任命 (原田正明)	同意	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	農業委員の任命 (田村修)	同意	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	農業委員の任命 (紀野誠)	同意	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	農業委員の任命 (小藤田光男)	同意	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	農業委員の任命 (福原康洋)	同意	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	農業委員の任命 (川名一人)	同意	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	農業委員の任命 (早川洋子)	同意	○	○		—	○	○	○	○	○	○	—	○
議案第15号	農業委員の任命 (馬賀仙夫)	同意	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○

第四回 6月定例会

<意見書について>

発議案第1号	国における2023年度教育予算拡充に関する意見書	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○

<条例の一部改正・廃止>

議案第1号	鋸南町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	鋸南町過疎地域自立促進特別事業基金条例の廃止	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○

<工事請負契約の締結>

議案第3号	都市交流施設周辺整備工事	可決	○	○		—	×	×	○	○	○	×	○	○
議案第4号	防災行政無線親卓設備更新工事	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○

<令和4年度補正予算>

議案第5号	一般会計補正予算 (第1号)	可決	×	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	鋸南病院事業会計補正予算 (第1号)	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	水道事業会計補正予算 (第1号)	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	○

いっばん質問

動画はこちら↓



問 鋸南町地域防災計画の改訂は

答 前計画から、大きく5点を変更

大塚 昇 議員

町民の生命や財産を災害から保護することを目的とする地域防災計画において、令和元年台風災害を検証して、教訓も盛り込んだ今回の「鋸南町地域防災計画」の改訂で、大きく変わった内容は。

防災計画の改訂内容

問 国、県の防災計画の修正に伴い、当町の防災計画の改訂で、大きく変わった内容は。

答 前計画からの改訂で大きく5点変更しました。

① 震災対策の想定を、東海地震から南海トラフ地震対策へ。町が南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に指定されており前計画を踏襲し改めています。

② 計画目標値を5項目へ変更。住宅・建築物耐震化目標、自主防災組織率の向上及び訓練参加率の設定、要支援者名簿登録率の向上、協定内容の定期点検、防災拠点の代替え施設の整備（鋸南小・鋸南中・笑楽の湯・B&G海洋センター）

③ 各種協定の見直し。

④ 職員初動マニュアルの改定。参集方法、災害対策本部の編成、各対応行動などの修正に加え、外部の応援職員やボランティア受援計画と庁舎機能の復旧の応急対応業務基準を定めた業務継続計画を追加しました。

⑤ 県計画の修正と整合性をとり反映させました。

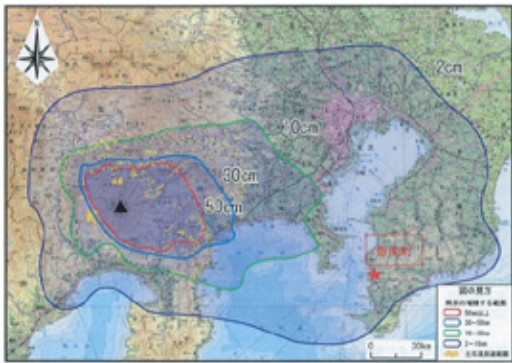
火山降灰の新対応指針

問 県は、火山降灰対策の対応指針を今年初めて定め

たが、町の上水道の水質悪化や停電による断水への対応策は。

答 県は、富士山大規模噴火の降灰予測のシミュレーションを示し県全域で降灰が予想され、町防災計画では約10センチ

の降灰堆積の可能性があるとしています。有事には浄水場の着水井や沈殿池、濾過池の開口施設を覆い機能維持に努めて、南房総広域水道企業団からの受水の増量で対応します。停電時には、非常用発電設備を配置しており浄水処理を継続して、安全な水道水の安定供給に努めていきます。



富士山噴火による降灰範囲と堆積量予測

非常時の通信対策

問 非常時の通信対策、情報伝達手段は。

答 非常時は、県防災行政無線と防災情報システムと

で各行政通信を確保し、電話等不通時に衛星携帯電話7台及び簡易無線機にて町内各拠点の通信を確保します。町民には町防災行政無線による情報伝達に努めます。併せて、予備電源や電力インフラによらない情報手段の確保にも努めます。非常用電源としては、庁舎1階に庁舎用非常用発電機、庁舎3階に県防災行政無線の発電機そして町防災行政無線に蓄電池をそれぞれ配置し、加えて可搬型バッテリー13台を準備しています。

問 衛星携帯電話7台あるが、費用負担については。

答 町負担の衛星電話は、町災害対策本部と各避難所の連絡に利用し、県等との連絡に利用する光通信システム及び衛星通信は県負担です。県のシステムは、令和7年度稼働予定で次世代通信システムへ再整備中です。

ここが聞きたい

青木 悦子 議員



問 魅力ある「ふるさと鋸南」の創造について

答 官民が力を合わせて創造したい

総合計画の基本理念に

ついて

問 里山・里海・里愛で結びつく町づくりの理想像とは。

答 「里山」を彩り「里海」に根ざし「里愛」で結びつくを

まちづくりの基本理念として『三つ星のふるさと鋸南』を創っていきます。住民と行政が共に「里山」の重要性を認識し、優良農地の確保、花であふれるまちづくりの推進を、「里海」に根ざすでは、様々な分野で私たちに恩恵をもたらす「里海」の自然循環機能を維持するため、美しい海洋環境保全、つくり育てる漁業の振興、

「里海」を通じた交流の促進に重点的に取り組みます。「里愛」は地域ぐるみの健康福祉、安全・安心のまちづくり、里愛を未来につながるふるさと教育、「里愛」あふれる観光地づくり等の推進を図り、町民どうし、町民と行政が力を合わせ、住んでよし、働いてよしのまちづくりを進めます。

問 まちづくりの担い手の確保などを含め理想のまちづくりの手立ては。

答 「魅力的で活力ある鋸南」を創造するため町民が自ら取り組む事業に対し、補助金を交付し、まちづくりの担い手の支援、

地域おこし協力隊の増員や地域活性化企業人の活用等、国の支援を生かし、地域活動や地域産業の活性化のための担い手の確保に努めます。

問 平成23年度から「三つ星のふるさと鋸南」を目指しての成果の事例は。

答 6次産業での事業開始の目標値が2件のところ31件、水産業の振興では水揚げ金額6億2千万円の目標に対し7億4千万円の実績。6次産業の実績は都市交流施設の施設整備により加工品の取り組みが活発化したことが伺えます。また、観光分野での入り込み客数の増加も都市交流施設が大きな要因です。更に住宅取得助成金の利用者が予定の30件に対し98件という実績となりました。子育て支援では、保育料、給食費の無償化、子育て広場の開設等があります。

問 里山、里海の自然環境につ

いての町民の方の声「川からの土砂の流入や家庭用雑排水の浄化基準が高いことが磯焼けの原因と思われるが」町の考えは。

答 合併浄化槽と磯焼けの因果関係については、はっきりとしていません。河川の堆積土等につきましては、引き続き管理者である千葉県に事業の要望をしていきたいと考えています。

問 汚染土埋立問題は千葉県が不許可を出しているが裁判中であり予断を許さない。持続可能なまちづくりには安心安全な環境対策が必要。魅力あるふるさと鋸南を守るために千葉県に対し、どのような交渉をしていくのか。

答 現状の事業が予定されていた用地は施設完成後、年数が経過し今後の保全について適切な対応がなされるよう、県に対し引き続き指導をしていただくよう要望します。また、採石場の立ち入り検査の際、県からは事業者に対し、関係法令に基づき適法に埋め戻すよう指示が出ており、町としても、遵守されるよう要望して参ります。

問 高齢期の難聴の調査を

答 実態把握に努めてまいりたい

笹生 あすか 議員



問 聴こえの支援について

高齢期の聴覚の問題は、難聴によりコミュニケーションが衰えることで、社会的に孤立しやすく、認知症やうつ病を進行させていくのではないかとされている。町は、高齢者の難聴の調査をしているか。また、現状は。

答 難聴に特化した調査や訪問護予防事業として、75歳から79歳の方に基本チェックリストを年1回送付し、把握しています。訪問等により介護予防教室、地域活動への参加のお誘いや、慣れ親しんだ自宅で、生きがいや役割をもつて生活できるよう働きかけています。民生・児童委員による71歳以上の世帯員のみ家庭への訪問は、難聴も含めて相談事等あれば、地域包括支援センターにないでもらっています。現在のところ、難聴のみの相談は受けていないとのことですが、24人いる委員のうち13人の委員から、訪問先の方の耳が聞こえづらく、意思疎通がとりにくい方がいるという報告もあがっています。

問

昨年9月議会で、補聴器助成について取り上げたところ大きな反響があった。その後の町の対応や、検討状況は。

答 今後、まずは高齢者の難聴の実態把握に努めていきま。アンケート調査項目の中に「耳の聴こえに関すること」「補聴器に関すること」を加えたいと考えています。また、後期高齢者健診での聴力検査について関係機関と協議の上、実施可能か検討していきます。現状の把握に努め、高齢者で身体障害者手帳をお持ちでない方への補聴器の購入費助成制度について引き続き検討していきたいと思っています。

問 地域マナーの強化

観光客のマナーについて全国的な問題になっている。

答 観光客のマナーについては全休日は路上駐車も増え、水上バイク等の危険な運転や騒音、火気の使用やゴミの不法投棄等の問題もあり、地域住民からの相談も少なくない。鋸南町安全で安心なまちづくり条例や、安心安全な鋸南町の海水浴場の確保に関する条例等があるが、地域力を生かした安全のための体制作りの強化が重要だと考える。町の対策は。

答

今年には町内5つの海水浴場を開設予定です。ライフセーバーによる監視、海水浴場監視監や職員による巡回、SNS等でのマナー啓発し、安心安全に利用できる海水浴場の環境を整えることが必要です。しかし、海水浴場開設期間外の海では、漁業法による禁止行為の規制以外には法律上の規制はなく、海の利用は基本的に自由ですので、町が独自に、海での行為を規制するのは難しいと考えています。迷惑行為等でお困りの方は、役場にご連絡いただければ関係機関と連携し対応します。

要望

早期発見・早期治療の観点からも、聴こえのセルフチェックによる啓発や、町の総合健診に聴力検査を導入して欲しい。また、補聴器購入助成を導入している自治体も増えているので、前向きに検討して欲しい。



竹田 和明 議員



問 これでもいいのか周辺整備事業

答 町のポテンシャル向上となります

道の駅保田小は主権者たる町民の施設なのに事業報告すら公開されていない。新たに総額10億円の周辺整備事業を行うというが、未だ収支計画もなく、無計画のまま事業が進められようとしている。町民の将来負担が増える中、町は「公営事業」だからと説明責任を逃れようとしていないか。

保田小事業への疑問

問 二年連続赤字となった保田小事業だが、どのような対策を講じてきたのか。

答 指定管理者、出荷組合と定期的に会議を開催しました。他の観光施設では売上が5割減とも聞き及ぶ中、2・3割程度の減少に抑えることが出来たのは、関係者の経営努力の成果と考えます。

問 計画未達のツケは、町民が負うことになる。令和17年度には人口は35%減るとの予測もあり、一人当たりの負担が増える。町長答弁はまるで他人事だが、事業の責任者は一体誰か。

答 【副町長】町が責任者です。客単価は重要な経営指標だが約600円と低い。対策は。

答 公共の施設であり、客単価等の把握は行っていません。

問 「公共の施設」だというのが、音楽室・家庭科室等の公共施設の利用は少ない。利用者の大半は町外客だ。民間の収益事業との大きな違いはないのでは。

答 建設工事の町内事業者の受注や、施設内雇用の創出、また、直売所での町内農業生産者への売場提供を行っています。

意見 それらは民間の事業でも同じだ。公共の施設だと弁解せず、運営・収益に責任を持って。

問 町民の施設なのに就労者の町民比率が半数以下であることをどう考えているか。

答 単に町内からの就職希望が少なかつた結果が今の比率で、問題とは考えていません。

問 事業報告等の情報は町民にとって重大な関心事であり、また全ての情報は主権者たる町民のものだが、情報公開されていない。町は情報公開し、説明する義務があると考えるがどうか。

答 情報公開・説明の義務は無いとの認識でおりましたが、今後はこれを改め、ホームページ等で公開・説明を行います。



あまり利用されない施設も多い

周辺整備事業への疑問

問 周辺整備事業は未だ収支計画すらできていないが、概算収支はプラスマイナスゼロだという。将来人口減少に伴い税収は大きく減るが、自主財源を増やすための取組みは行っているのか。

答 ふるさと納税も伸び悩み、税収減の代替となる自主財源の確保には至っていません。

問 二次交通の整備など町民の声である総合計画の諸施策に取組まず、なぜ周辺整備事業を優先するのか。

答 周辺整備事業は町のポテンシャルを高めます。限られた財源ゆえ、総合計画の諸施策への取組みは取捨選択して行うこととなります。



町内の花々



議会の日誌

5月 6日 議会運営委員会
 5月12日 令和4年第3回臨時会
 5月23日 議員全員協議会
 5月31日 議会運営委員会
 6月 7日 令和4年第4回定例会

6月 9日 環境衛生組合議会臨時会
 6月27日 議会広報特別委員会
 7月 4日 議会広報特別委員会協議会
 7月 8日 安房郡市広域市町村圏事務組合
 議員全員協議会及び臨時会

編集後記

鋸南町社会福祉協議会の支援で、地元上佐久間にサロンができました。初回は15人の参加があり、久しぶりの集会に皆会話もはずみ楽しそうでした。

地方自治の原則は住民自治です。サロンは直接町民の声を聴くことができる良い機会です。町民アンケートで最も多かった声は、交通基盤の充実です。免許を返納したお年寄りや子ども達は病院や買い物へも行けない状況があります。

年4回行われる定例議会では、議員の一般質問が行われ、町民の声が行政に届いているかを質します。議会は公開が原則で、誰でも傍聴できます。最近はこちらチューブでの録画視聴も増えており、議員としてとても励みになります。

一般質問を行う場合は、事前の取材や関係資料の調査などの準備、また議場の丁々発止など、かなり時間と労力を要しますが、議員としての経験を積む良い機会です。

今後も町民主役の行政を実現させるべく本気の一般質問を行いますので、議会傍聴ないしは録画視聴を是非お試しください。「町民の声」をお届けください。

(竹田和明)